

Art Scene 2010-2020 シンガポール現代美術の巡り方

講師 | 関ひろ子 [アートプロデューサー(東京、シンガポール、ハノイ)]

Photo: Lee Wen, "Dreamers' Haven" detail. Created in collaboration with National Gallery Singapore. Commissioned for Children's Festival: Small Big Dreamers 2018.

2019
11.14 [木]
19:00-21:00

赤道直下の小さな経済大国である多民族国家のシンガポール。文化芸術政策の一環としてアートへの投資が盛んなこの国では、新しいアートスポットが続々と誕生しています。今回はアートプロデューサーの関ひろ子さんをお招きし、2010年から6年間シンガポールに滞在した経験をふまえ、現在のシンガポールのアートシーンを紐解いていただきます。シンガポール社会を色濃く映し出し、国民啓蒙の数々のキャンペーンを批評したプロジェクト「Campaign City」。人の住むペラナカンハウスやHDB（公共の集合住宅）や金融街オフィスなどに新作を設置し街の歴史や場を再考した「OH! Open House」。シンガポール人の8割が居住するHDBの118軒の室内写真から多民族国家の文化を捉えた本のプロジェクト「HDB: Home of Singapore」など、社会と深く関わりをもつアート・プロジェクトを紹介します。また、アートフェア(2011~)や、現代アートギャラリーの集積地ギルマンバラックス(2012)、アートセンターのNTU/CCA(2013)、ナショナルギャラリー(2015)など、アートへの投資に近年力を注いでいるシンガポールのもう一つの姿も取り上げる予定です。様々なアートシーンを目の当たりにした関さんならではのお話しは、日本とシンガポールの文化・芸術環境の比較をうながし、そしてシンガポールのアートを巡るヒントとなるでしょう。

講師プロフィール

関ひろ子 | Hiroko Seki

1992年大岩オスカーのマネージメントを皮切りに1997年コマンドN、2009年Beppu ProjectのアートNPOとアートフェアなどに携わる。クリティカル・クエスト-批評の役割ゲーム展（スパイラル）、Muntadas: Asian Protocols展（アーツ千代田3331）などを企画。2010年よりシンガポール、2016年よりハノイにて現代アートのリサーチを開始。日本の企画の現地コーディネーター、Herb & Dorothyの東南アジア上映配給人。

お申し込み

ウェブサイト上の申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://www.art-society.com>

定員 | 15名（先着順）

参加費 | 1,500円（南国の軽食と飲物を用意しています。）

会場

アーツ千代田3331 地下1階マルチスペース(B105)

東京都千代田区外神田6丁目11-14



東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分/東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分/都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分/JR御徒町駅南口より徒歩7分/JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分/JR御茶ノ水駅聖橋口より徒歩15分

主催

NPO法人アート & ソサイエティ 研究センター

110-0005 東京都台東区上野3-13-9原田ビル201

info@art-society.com

※いただいた個人情報は適切に責任を持って管理いたします。